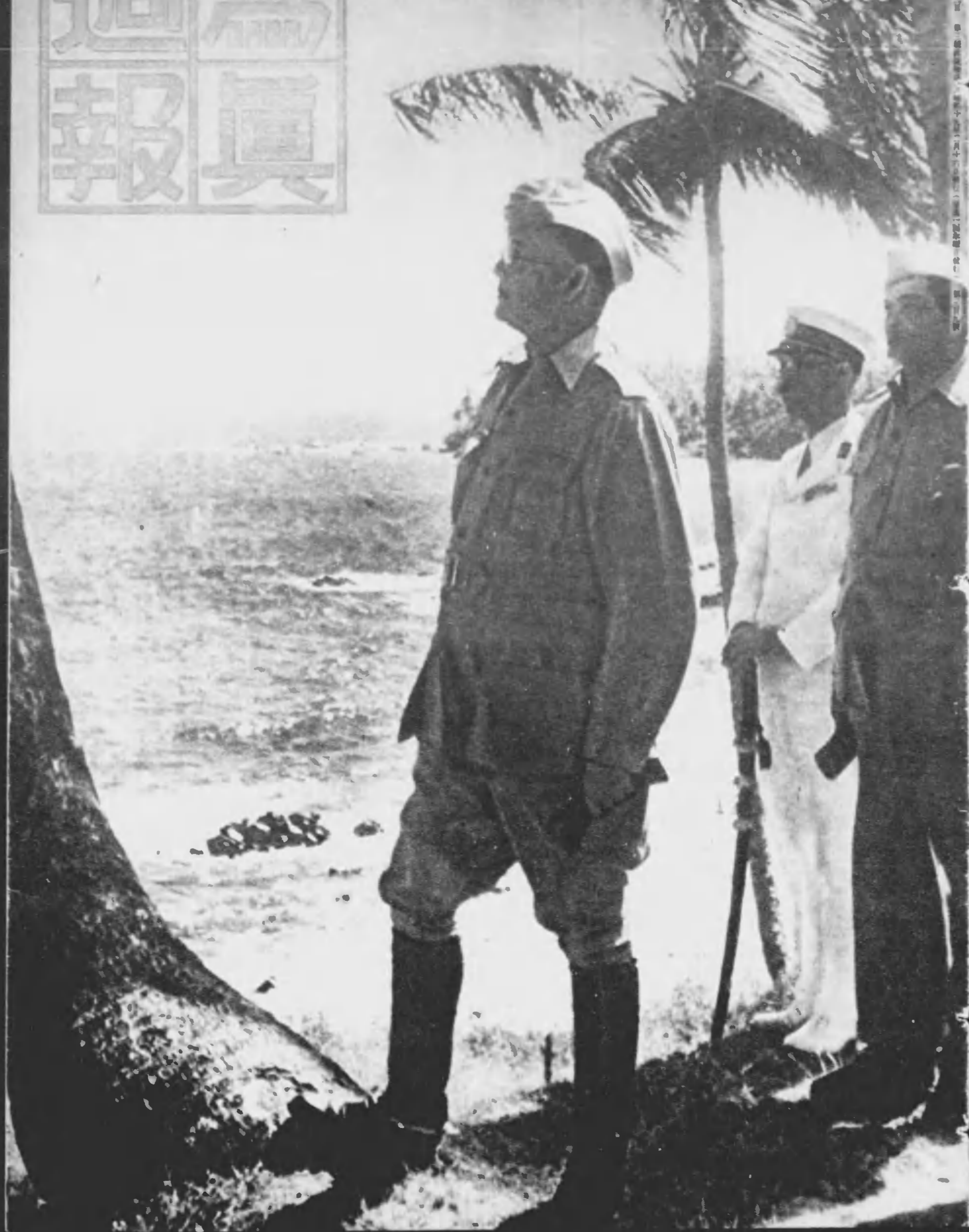


週寫眞
報

情報局編輯
二月十六日 第九百三十一號



今こそ討たんとする米寇の侵襲



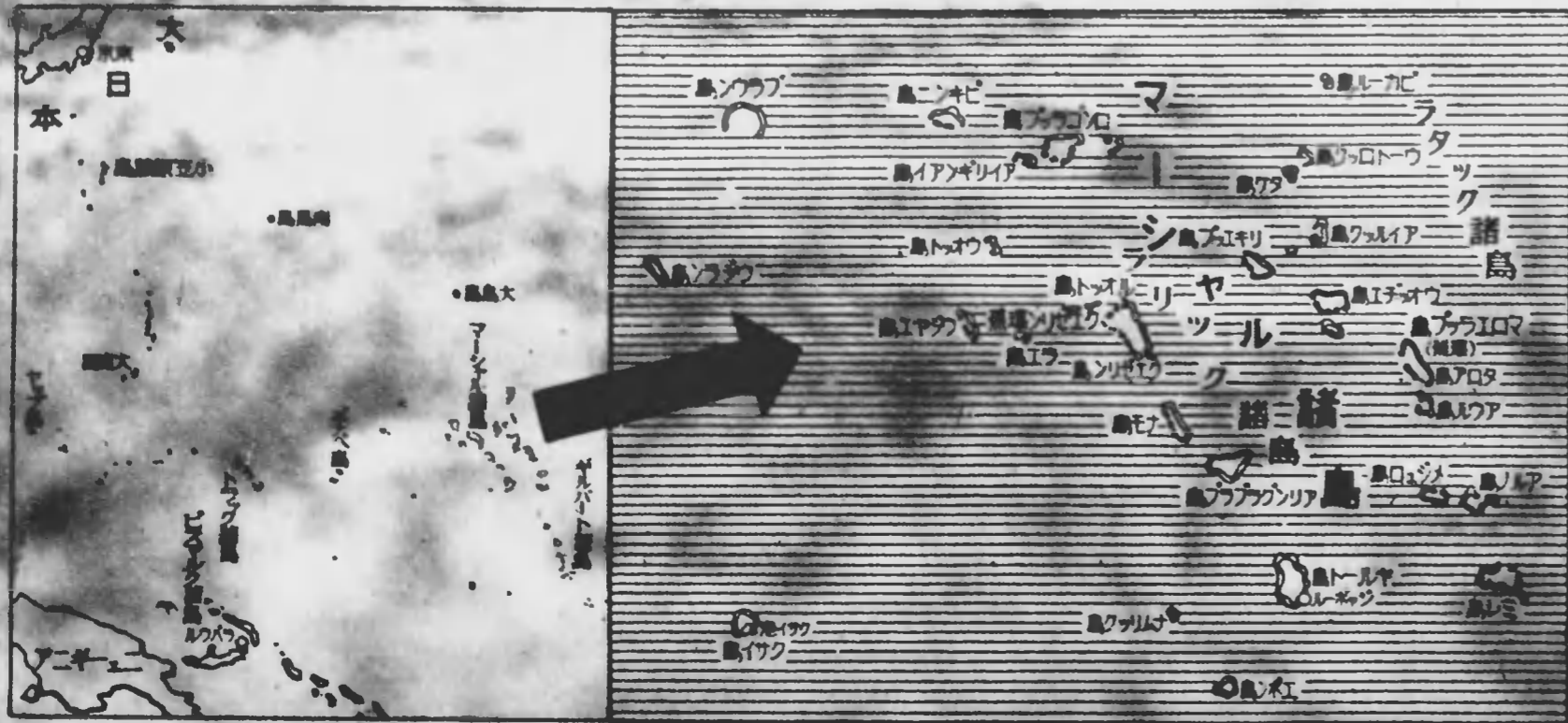
第二十五号

(日軍水)

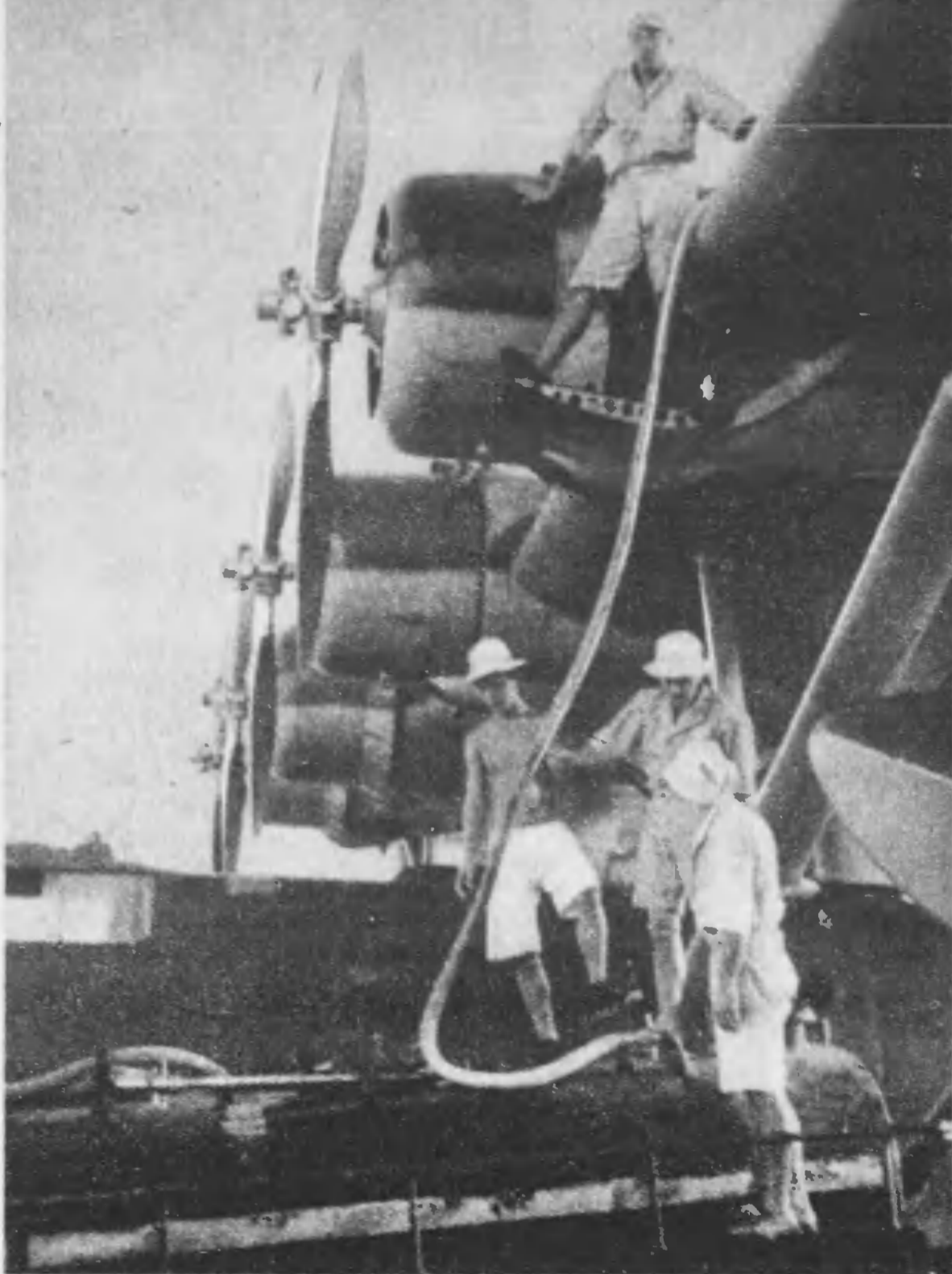
時 立 札

昭和九年二月十六日

風邪で寝こむことは
 戦列から離脱することだ
 火事を出すことは
 敵の手先になつて焼夷弾を落したことになる
 恩愛に名をかりて食糧を掻き集める如きは
 糧秣補給路を襲ふ敵ゲリラ部隊だ
 敵奴いよくわが領土に襲ひきたる時
 生活の一切に戦ひをかへりみよう



日本領土の防衛は、新平死守せんが第一である。この島は、日本の領土である。この島は、日本の領土である。この島は、日本の領土である。



フロベラは休む暇はない。敵を叩き出さず敵を叩くには、整備員にも不断の苦心がある

撮影 寺尾海軍報道班員

マーシャル諸島の激闘 4

年初以来熾烈化した敵の反攻は、遂にわがマーシャル諸島にその觸手を伸ばすに至つた。即ち二月三十一日の大本營発表は、『三十日朝來、有力な敵の部隊がマーシャル諸島に來襲し、同方面の帝國陸海軍部隊は之を激戦中なる旨を報じたのであつたが、その後の戦況に關して二月五日の大本營発表は

一、敵は航空母艦、戦艦を基幹とする有力な機動部隊と基地航空部隊とを以て、三十日朝來、連戦「ルオット」島に於ては、所在陸海軍守備部隊の勇戦奮闘により、上陸し來れる敵の一部を撃退する等、激闘を續け、守備地域を確保しあり
二、所在帝國海軍航空部隊並に陸海軍守備部隊は、全力を奮つてこの敵を退撃し、二月一日までに敵機五二機を撃墜、二四機を撃破、艦隊二隻を撃沈、巡洋艦、驅逐艦各一隻を炎上せしめたり
一、「クエゼリン」及「ルオット」島に於ては、所在陸海軍守備部隊に且り砲撃を行ひ來り、二月一日には「クエゼリン」及「ルオット」島に上陸せり

この方面に對する敵の反攻が、わが戦略要線に迫る本格的反攻であることは、昨年十一月下旬のブーゲンビル島沖海空戦と同時に生じた四次に亘るギルバート諸島沖海空戦と、マーシャル諸島沖海空戦に於て如實に實證されたのであつたが、敵はこゝに二ヶ月の準備を終つた後、更に一步我に内迫して來たわけである

敵のこの方面に反攻を積極化するであらうことは、ギルバート作戦當初の米海軍長官ノックスの言明に徴しても明らかであり、そしてまた最近の敵機の來襲状況からみても想像されたところであるが叩かれても執拗に反攻するその不退な抗戦意志は、その豫備戦力とともに斷じて輕視するを許さぬものがある

なほ、これとともに注目せねばならぬのは、敵の反攻が單にこの方面のみでないといふことであつて、ラバウルに對する敵の爆撃は依然激化の一途を辿り、一月中のみで來襲敵機数は、實に三千二百二十機に上つたのであり、一方、北千島に對しても二月四日に敵機三機が來襲し、これ一月下旬以來連続六回にのぼるといふ状況で、敵は太平洋の全周から決定的打撃を我に加へんとする態勢を示してゐるのである

従つて我々は、戦局は今後ますます苛烈化するものと覺悟せねばならぬのであつて、それだけに我々は、個々の戦局の推移に眩惑せず、大東亞全局を常に大局的に觀察して、事態の實相を的確に把握する用意を必要とするのである

前線、國內一體となつて戦つてゐるのが今日の總力戦であり、

大本營海軍報道部

見事飛び立つ海軍を見送つた攻撃機が、次ぎには燃料補給を終へてこれにつづくた

揚子と戦艦機に撃たれた島、これが環礁飛行基地の實相だ

撮影 阿部海軍報道班員





はやる闘志を抑へて来た。方のインド国民軍に遂に進軍命令は下った。二月四日、インド国民軍最高司令官スバス・チンドラ・ボース氏は、ビルマ方面帝國陸軍部隊と協同の下に、アチンドン正面の仇敵英印軍に對して果敢な攻撃の火蓋を切つたのである。かつて「領土なき政府」とは、敵米英の自由印憲假政府に對する悪口であつた。しかしながら今や同政府には、アンダマン諸島並にニコバル諸島がその領土として、インド進撃の有力なる基地として、わが手から取られることになり、スバス・チンドラ・ボース首班は、今年一月、ビルマ國境地區へ進駐するに先立ち、十二月二十九日アンダマン諸島とニコバル諸島を視察し、鮮かしいインド獨

インド進撃の 意気高く

ボース首班アンダマン
ニコバル兩諸島を訪問

アンダマン、ニコバル兩諸島在住の二十歳から四十歳までの壯丁によつて組織された國民軍は「わが指導者」を迎へた欣びに頬を輝かせた。

アンダマン諸島は殉國者の島、ニコバル諸島は自治の島と改められた。われらの首班を迎へて、心からボース首班を叫ぶ民衆。

われらが首班をむかへた原住民はインド進撃の前奏をうたひをどつてみせた。

この興奮に幾多のインド獨立運動の先驅者が呻吟し、断食抗争を以て彈壓とたいかつたのだ。





武器を手にして訓練にはげ、乙女たちの熱き血は今も同志
の心を燃やしている。待たぬは、同志の歩武堂々と戦場へ、戦場へ

第一次独立戦争に倒英の陣頭を立つたのはラクスマイバイン
王の妹、いま婦人部が陣頭を立つたのはラクスマイバイン



祖国を救うに男も女もない。インド国民軍婦人
部隊が旗を掲げるのは、待たぬは、待たぬは、待たぬは



く高気意の撃進ドンイ

駐進にマルビ軍民國ドンイ

★立の自由三色旗を掲げて、敵の悪罵に堂々と酬いたのである
敵が必死になつて中傷するの、敵が如何に假政府を恐れてゐる
かといふ證據であつて、現にインド国民軍が組織されて以来、イン
ド国内は物情は然たるものがあつた
チャンドラ・ボース首班は、既にインド国内と連絡をとり得たと、言
明したが、外電によれば、この動搖に乗じてボース首班を指導者と
する獨立運動が果敢にくりひろげられ、安坑の爆撃、橋梁の破壊か
ら英印艦隊の曳船まで撃沈される始末だといふ。さらに反英派戦氣
運が軍隊内にも溢り、最前線にインド兵部隊と英人將校とが衝突
し、部隊を交代せねばならなくなつたとも傳へられ、また十方のイ
ンド兵は脱走し、そのうち一方に近い兵士は獨立運動に加はり、
雪崩をうつて進撃し来る國民軍を迎へんとてゐるといふ
ニューデリーの總督官邸に國民軍軍旗を懸へす日まで、死か勝利
かを合言葉に、ボース最高指揮官以下の決意こそ、戦ふ大軍の
躍進でなければならぬ
撮影 小山田陸軍報道員
同盟通信社



↑ 祖國進駐をめざして南インドのラジャスタン市
内へ進駐し、堂々行進するインド國民軍

◁ 津浦線の兵舎の前で、國民軍に
對し祖國進駐を宣誓する指導者

こんなに変わった

昭南二年の相見

シンガポール攻略二周年



皇軍將士の鮮血に染められ、はい幾多の犠牲によって奪取されたシンガポールの町にも今日は明るい陽光の中を皇軍自動車隊がゆきかた



白旗を掲げ、おと前門に降参した皇軍第1師団の中將以下が、前線と



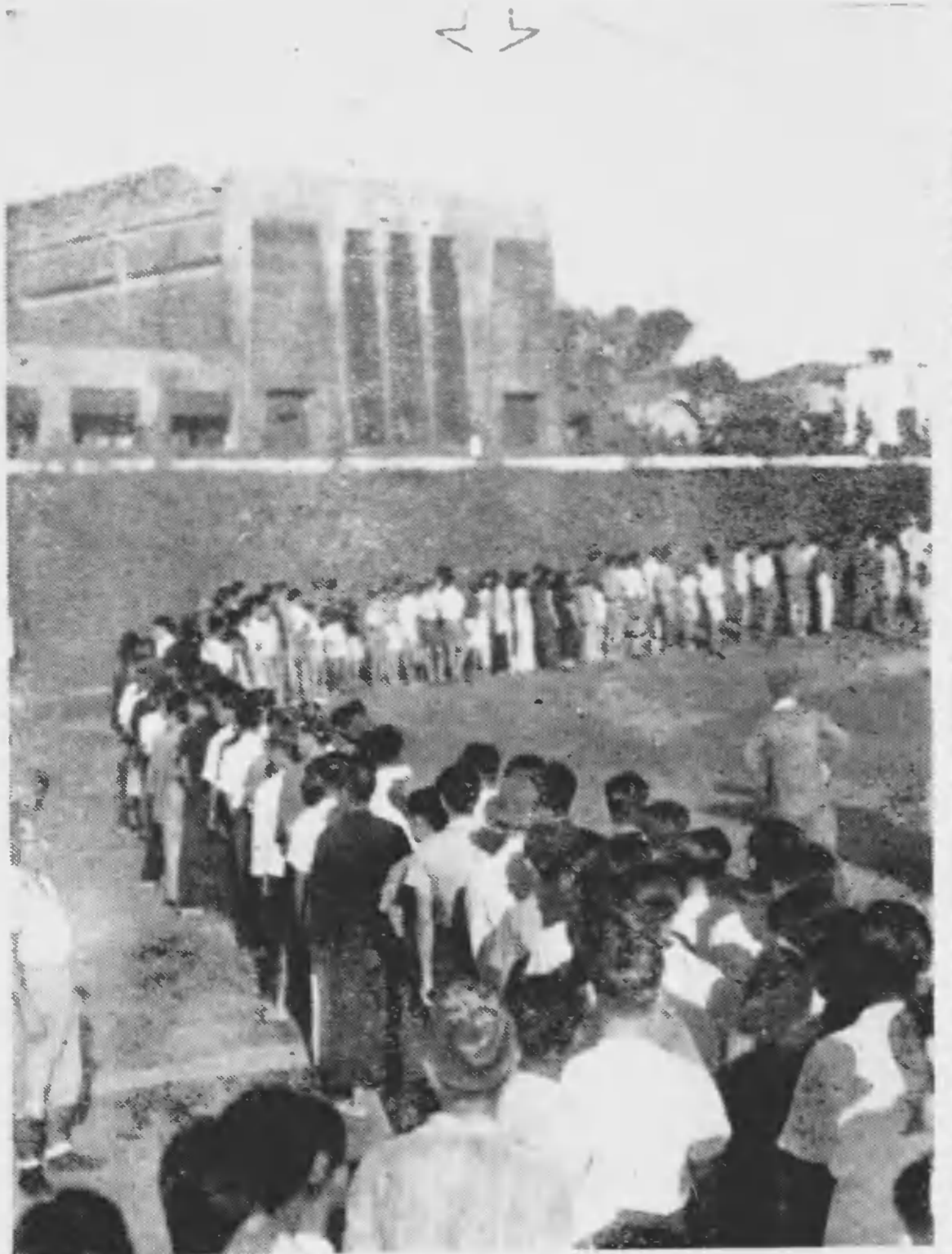
一番乗りをやさんだと
りんで死んだ戦友の
シンガポールの街の朝
り、ほんたうに心強い限りだ
日露戦役の旅順攻勢戦に参加した勇士が、内地に歸還し
旅順について仕んだやうに、自分もこの昭南の土と
戦友の血のじむこの土地に、新しい東亞
を建設するのが自分の務めだと思ふ。それにしても遅しい
この昭南を一度君に見せたいものだ
早いものだ。もう二年経つた。前線記念日を迎へて感謝
トとチャールズをふん縛つてつれて来てくれ給へ、あいつ
無量だが、目ざましい進歩はこの前線でこぼれ入る通り



前線戦の下、シンガポールの火道のこので、昭南にシンガポールの東への
の第一歩を印したこの三月五日は、當時を語る一基
の礎、碑の前に現地人の少女達は皇軍將士の勇戦を偲ぶた



紀元の佳節の長たつたこのシンガポール市街に突入した日の
感激は今日、大昭南市を生み出した喜びと變つて井原國發展
の南の大基地としての姿をそのまゝ、うつつし出している



一人も洩れなく申告しませう

二月二十二日は人口調査

勢を口人と争戦

大東亞戦争勃発
支那事変勃発
第一次世界大戦勃発

七三九三九六〇〇人
七一二五二八〇〇人
六五三六六五〇〇人
五三六六八六〇〇人
四七二五五〇〇〇人
四三〇四二七〇〇人

日本の繁栄 三四八〇六〇〇〇人

この頃の人口調査は、わが國の人口の状況を明らかにして、戦時下におけるわが國の戦力の増強に役立つため、人口調査である。従って申告書が漏れれば、また嘘の申告をしたりしてはなりません。申告の時期は昭和十九年二月二十二日午前零時です。直夜中に調査員が各戸にやってくるので、この時の状態を正しく申告するのです。この時、申告者は内地に現在居る人すべてを洩れなく調査するのですが、陸軍の部隊や艦隊内にもこの調査が及ぶ場合があります。但し部隊や艦隊に勤務する者等は、二月二十二日午前零時に自宅に居るやうな人は申告しなければなりません。

昭和十九年二月二十二日 人口調査申告書

申告者氏名： _____

住所： _____

年齢： _____

性別： _____

職業： _____

兵隊の階級： _____

調査員氏名： _____

局 計 統 局 内



(一) 同一世帯内の人で二月二十二日午前零時以後を歩いてきたとき、直夜中に調査員が各戸にやってくるので、この時の状態を正しく申告するのです。この時、申告者は内地に現在居る人すべてを洩れなく調査するのですが、陸軍の部隊や艦隊内にもこの調査が及ぶ場合があります。但し部隊や艦隊に勤務する者等は、二月二十二日午前零時に自宅に居るやうな人は申告しなければなりません。

(二) 二月二十二日午前零時の調査の時刻に、汽車、電車、世帯のない舟内にある人、また歩いて旅行してゐる旅館やその他の世帯を調査する機会のないことが、豫め分つてゐる人は、最後に出發した世帯に於て申告します。また出發の時刻に豫定が立たず、急に旅行に出て調査の時刻を途中で過ぎたやうな人は、二月二十二日午前八時までに初めて到着した世帯に於て申告することにして申告すること。

(三) 二月二十二日午前零時に内地(樺太を含む)に居る人で、いづれの世帯からも申告されなかつたことを知つたときは、二月二十五日までに自らすすんで最寄りの調査員または市町村長に申出て調査を受けねばなりません。

記入の仕方

申告書に記入する仕方は各世帯一枚あつて「昭和十九年人口調査申告書記入の仕方」といふ記入の手引が調査申告書と一緒に配布になりますから、それをよく讀んだ上、間違ひのないやうに記入して下さい。

右に掲げた調査申告書を見ながら、二、三記入上の注意を申し上げます。食糧や物資の配給を現に受けてゐる場所を記入します。男女の別と配偶者の有無は自分に該当するにしたがつて「あり」といふやうにマルでつづんで下さい。

所屬の産業はイ、ロの二つにわかれさらにロの下段には、「航空関係の有無の箇所が設けられてゐます。イは申告書の裏やまた「申告書記入の仕方」にかゝつてある八十八種の産業分類中から、自分にあつてはまる産業名を見出し、その上の番號とともに記入するのです。ロはイに書いた産業の番號をもつと詳しく細かに内容

にあつて書くのです。たとへば石炭生産職士で無煙炭を掘つてゐる人でしたらイ(石炭生産)関係の有無は、自分のしてゐる仕事が直接航空機をつくりたり、その部品をつくりたりしてゐる場合に「あり」と書くのです。

職業上の地位は自分の仕事上の地位が七区分中のいづれにあたるかをよく見て、たとへば自分が工員の場合は「労働者」のやうに、番號をみるマルでかこむのです。

兵役関係も前のやうに自分の該当するところをみて見て「あり」といふやうにマルで番號をみるかこみます。

記入上の注意や要領はだいたい以上のとおりです。申告には一人一枚の申告書用紙が調査員から各世帯に二月二十日までに配布されますが、もし配布されぬやうなことがあつたら、調査員または市町村長に請求して下さい。申告書は二月二十日午前八時までに記入しておいて調査員に提出することになります。記入の點でどうしても分らぬ箇所は調査員にきて書いて下さい。

は術戦退撃の冒感



毎日寒い風が吹いて、空気が乾いてゐるので感冒をひいてゐる人がかなり多いやうです。この機会に感冒の対策を考へ、併せていま、米英にはやつてゐるといわれる感冒のあらましを説明してみませう。

この前の世界大戦にはやつたスペイン感冒といふのは、スペインから發生し、四、五年中に及び、死者だけで六億、死者が三年間に千二、三百万も出た。第一次世界大戦戦死者一千万人といふ五、六億の流行性感冒のことで、我が國でも大正七年から九年までつゞきました。死者三十九万の多數を出し、一時、三十六府縣の小學校は休校、十府縣の工場は操業停止といふ惨状が起つてゐた。

ふ非様な状態になつたのでした。このスペイン感冒と似た流行性感冒がこんど敵イギリスに發生し、直ちにヨーロッパにひろがり、またアメリカにも蔓延してゐるといふことです。昨年の暮、英國の主要都市百二十六では、一週間に一千四百十八名の死者を出し、また米國側では東部に船載をきほめ、これがため三割二分の小學校が休校、重症患者だけでも百万を突破したといふ情報が入つてゐます。既にソ聯でも西から北部にかけては、かなり流行してゐるやうです。

昔はなことに大東亞戦争國內には、まだこの感冒は入つてきてをりません。しかし

傳染性がきつてつよい感冒ですから、いつ入つてこないとも分らないのです。政府でも關係機關を動員して、いまから対策に勵心してゐるのですが、最も肝腎なことは、みなさんがたとへこの悪性感冒が入つてきても、十分に撃退できるほどの體力を平素からつくつておくにあるのです。そのためには大いに注意するやうなことが必要で、少くとも今はやつてゐる普通の感冒に於ては絶対負けやうにして戴きたいのです。

(一) 人混みでは必ずマスクを用ひること、特に風邪氣の人は他人にうつさないために必ずマスクを用ひること。

(二) 外からかへつたら必ずウガヒをすること。

(三) 戸外に出て新鮮な空氣と日光とを十分にうけること。

(四) 體操、氣足などで體を鍛錬すること。

(五) 乾布または薄着を動行して皮膚を丈夫にすること。

(六) 食物はよくかんで楽しく食べること。

(七) 睡眠をよくとること。

(八) 部屋の換氣に注意すること。

もし一人の人が感冒でたふれたら、それ



だけ日本の戦力は弱まるのです。自分が丈夫なことは、戦力をそれだけ高くすることです。わたしたちは積極的に自分で抵抗力をつくらせて感冒など撃退し、いやしくも光榮ある一隊軍列の中から落伍するやうなことがないやうに努めようではありませんか。



にだらかい強っ撃を敵

長野 冬の自然は私達に與へられた絶好の心身鍛錬道場です。酷寒のほげしき、風雪の鞭のやうな鋭い痛さ、この自然の厳しさに鍛へ上げられた頑健な肉體や、強靱な精神は、いま前線に、増産戦場に限りなく戦力となつて逞しく發揮されてゐるところです。

倉 此の自然の道場には、學校で、會社工場で、市町村部落町内會で、これらに猛烈な冬季國民錬成がくりひろげられてゐます。

國民 雪國、長野縣の諸郡、郡舎國民學校の少國民達も、休暇どころではないと例年の寒中休暇も中止して、毎日風雪の激しい野外に必勝の體力を培ひ、明日のお召にすぐにも役立つやうにと抱みない訓練を續けてゐます。

學校 白皚々の雪野に、裸體訓練——耐寒性の強い體格はかうして培はれてゆく。寒寒感なんんかの身體で敵國へ追ひかへしてやるぞ。



「ヨイシヨ、ヨイシヨ、ヨイシヨ、天突訓練に敵必殺の氣合をこめて」

「ヨイシヨ、ヨイシヨ、ヨイシヨ、天突訓練に敵必殺の氣合をこめて」



白魔と闘ふ輸送陣

近附打石線越上



⇨ 積雪防止の除雪作業は沿線各所につけられてゐる

⇨ 沿線の男女老若壮年者から、國民學校の生徒まで動員して、組織された除雪勤勞奉仕隊は、命令さへあれば昼夜を問はず出勤するのだ。スコップを握つて除雪作業に敢闘する國民學校生

一億戰闘配置に就いたいま、われわれは與へられた任務はわれわれの部隊を死守する以外にはない

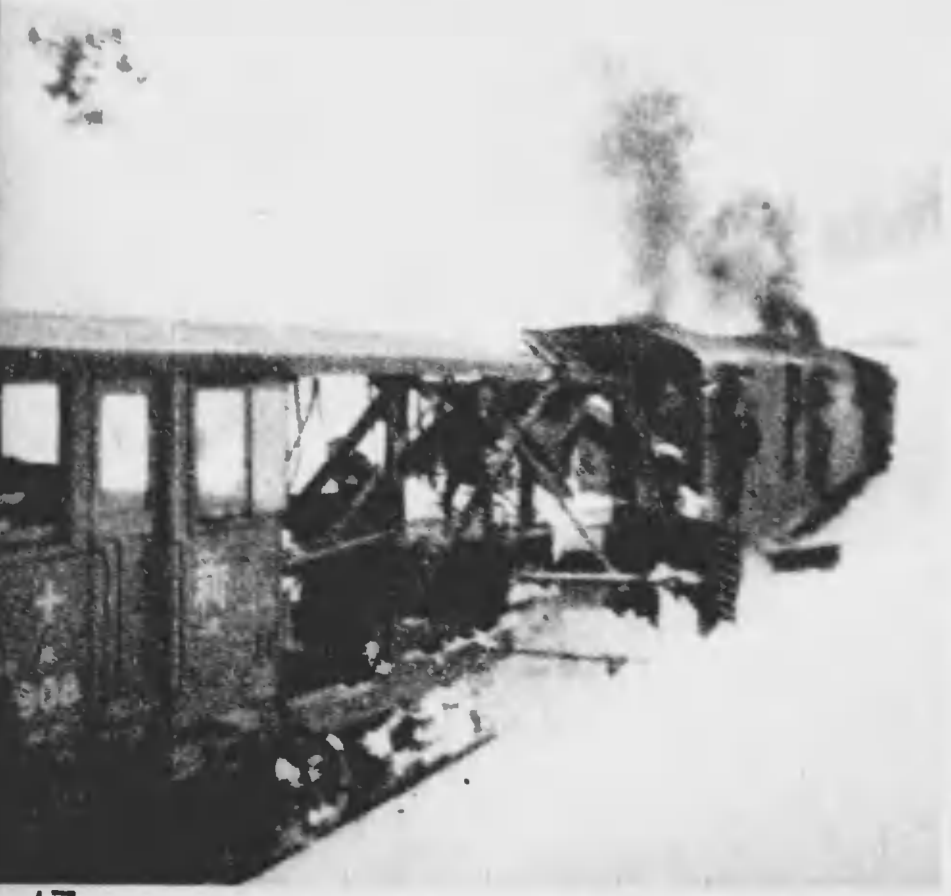
ことに、一切の生産のものになる輸送陣を守るものにとつて、前線さながらの戦意をもつて、輸送の萬全を期して文字通り二十四時間勤務をつづけ、輸送の事故によつて増産戦にいさゝかの支障もあつてはならないと、地味な、たが血みどろの苦闘をつづけてゐるが、わけても冬期輸送陣にとつての大敵、積雪と類氷、ひとたびこれに侵はれば、正確を誇る國鐵のダイヤもたちまち混亂し、積雪の災害に至つては列車も、資材も、人命もあつといふまに無にしてしまふことさへあるのだ

この大敵、白魔と闘ふ積雪地方では、いま國鐵保線係を中必に、沿線の人達によつて組織された除雪勤勞奉仕隊などによつて、除雪に、積雪警戒にと、懸命な戦ひがつけられてゐる。この苦闘あつてこそ期せられる輸送の萬全であり、この萬全の輸送あつてこそ擧げられる飛行機の、船の増産戦の勝利である。この苦闘する人々の勞苦を思ふにつけても、われらは不急、不要の旅行によつて、この戦力を邪魔することを嚴にしなければならぬ

⇨ 車輪に凍りついた雪、こんなところにも人知れぬ苦勞が拂はれる

⇨ かんじきをつけ、鍬笠に身をかため、女子青年團員も渾身の力をふるつて雪と取組む

⇨ 國鐵の精鋭、特殊式除雪車は白魔を砕いて駕進する



農閑期返上 長野縣 忠次
 今日も雪がちらついている。しかし農閑期を賦納した農民たちはいま増産めざして必死の奮闘をつづけている。雪よみに、堆肥つくり、雪をよんで人々の土への戦は今日もつづく

茶をふむ、茶をふむ。茶も農土の心をこめて更に生々と伸びつづけ

化学肥料に頼つてはならない、草をもつて、人糞を以てつくる堆肥こそ永遠に土地を肥すのだ



★表紙
 アンダマン島の排遣に立つたスバス・チャンドラ・ボース氏は、波の彼方、遙かに祖國インドを見やるのであつた。祖國インドには今なほ三億八千万の同胞が飢寒に飢え、暴虐の鐵鎚を断ち切らんとして身も世もなく悶えてゐるのだ。ボース氏の胸にはその苦しみがありありと映つたことであらう。そして、同胞たちよ、待て今しばし、我等が進軍の日までであらうと心の中にかう叫んだことであらう

血の闘争の幾十年に靡へられたボース氏の陣頭進軍こそ、大東亞十億の刮目して期待するところである



奄美大島の乙女挺身隊
 平 幸次
 諷刺畫

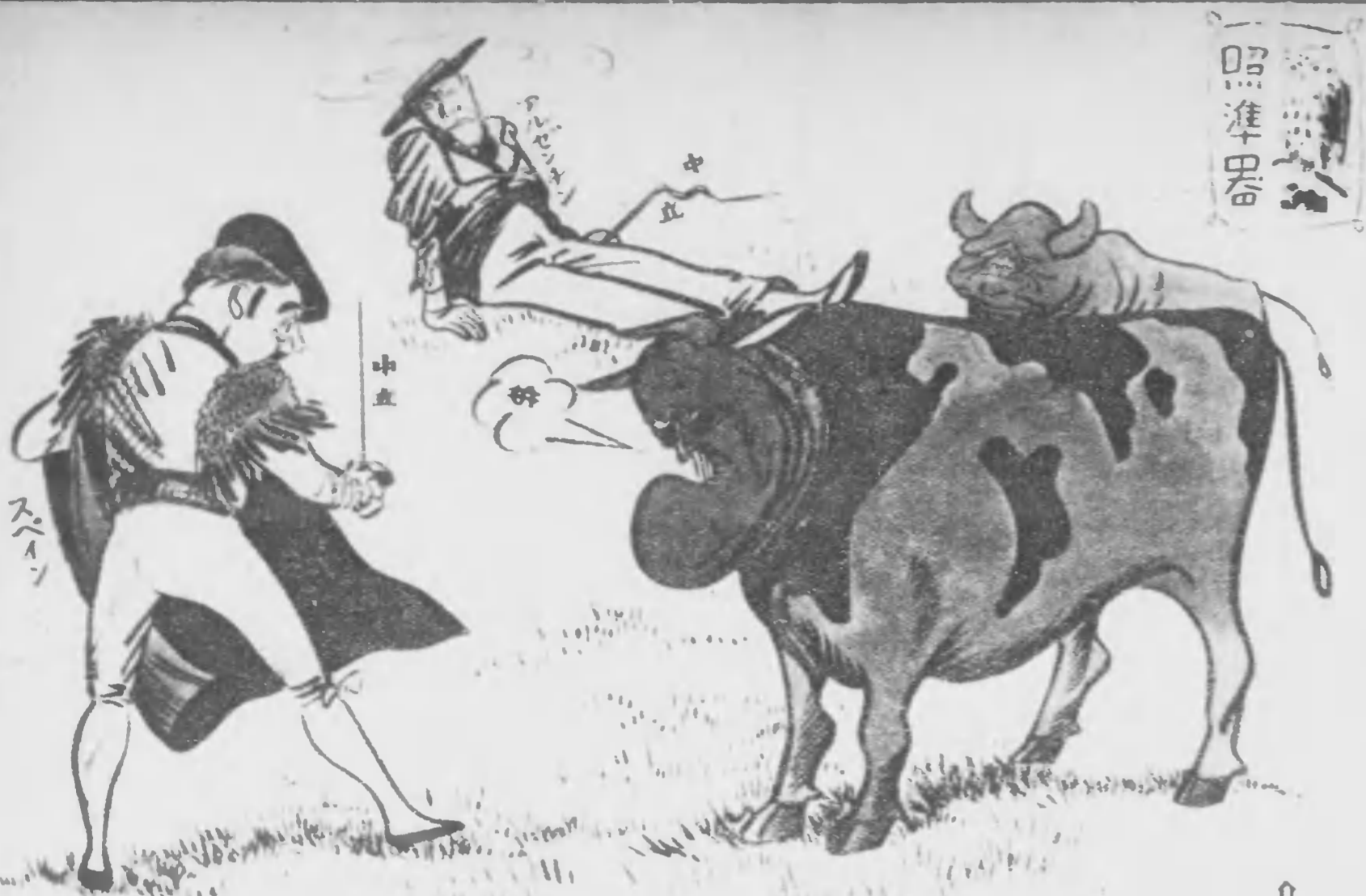
かすくの物語りと黒潮の奔をこめた市の風、奄美大島の乙女たちも、はげしい時流に若い血を沸らせ女子挺身隊を結成しました。大島郡のうちでも隨々といはれる模範部落、早町村小野津の挺身隊は、男そこのけの増産に、鋭鋒に、いま隊員の活躍をつづけてゐます

↑
 騎上ゆたかな女子挺身隊の分列式

↓
 裂帛の気合ものすく破刀の積古。強健な母體こそは國の基



照準器



農具アノリカ
 アルゼンチンを産した勇牛、さらにスペインへ徳風を吹きかける

大東亞戦争漫画日誌
 石川運介



↑
 軍用機に砲は第一撃、一機一人々が一切の私を捨て、渾心の力をこめて

↓
 敵機隊員大奮勇飛行を一月中パウエルへ來朝の機隊千五百名の機員をのせてそのまゝ機隊へ急降下



↑
 ドイツ機隊の機隊に機隊員入隊ならすドイツ「ナチ」やかましいはだもど!!



寫眞週報 昭和十九年二月十六日 印刷局印刷

機も多もく前線へ
一枚も多もく國債・債券を買つて飛行機を造れ



大東亞戰爭國債
出賣 二月二十一日 ← 三月六日
貯蓄・報國債券

國債の購入に代る
國債貯金を利用せよ

大藏省

印刷局印刷發行

本誌を回覧に
本誌を、隣組や職場で回覧するなど、出向も有効に御利用下さい。
前線慰問にも
またお読みになったら本誌を前線慰問に送りませう。送附は内地と同様で封筒は必ずは開封にして第一種と明記すれば、一部一銭です。

本誌掲載の寫真中、署名を成ひは提供名を特記してあるものは財団法人寫眞協会の製作によるもので、又、海軍省承認の寫真は海軍省承認の寫真と明記して下さい。

所 達 申	價 定
全國各地官報 通報普及部 （郵便局發售所） 書店・購買店 新聞販賣店	一部十錢 （送料一錢） 外國郵送に依る地域は送料共一部十九錢 ▲特大號の場合はその部度別送料金より差額を申込みます

昭和十九年二月十六日 印刷發行
情報局
東京部 一區
水田部 一區
印刷局
東京部 町區大手町

寫眞週報
（葉無斷續號）

（列刊編號）A4所載定價は33大の賣本